

令和元年度第2回理事会開催

－賦課金等の20%減額請求措置継続も、期中に10%へ変更の可能性あり－

当協会令和元年度第2回理事会が去る10月24日、KKRホテル東京において開催された。前田会長があいさつを行った後、議長に就任して審議が行われた結果、上程された各議案はすべて原案通り承認された。

第1号議案『令和元年度上半期業務報告、収支計算報告』では、(1) 東京港における元年度上半期の輸入貨物の取扱数量は1,016千トン(検査・重量ベース)、前年度比8.6%の減少であった。本船貨物では果実の主力であるバナナが、重量では前年同期比7.8%の増加だが、カートン数では1.1%の微減、パイナップルは23.5%の大幅減、キーウイフルーツは1.1%減少した。かんきつ類はGF23.6%、オレンジ42.6%と大幅減、レモンも5.7%減少した。本船小麦は13.8%の大幅減となった。一方、コンテナ貨物は4,255本減少し、381百本だった。こく類ではモルトが611本の大幅減、コムギも128本の大幅減で、全体では651本減少した。ダイズが687本の大幅減、ラッカセイが68本の減少と、まめ類全体で841本減少した。乾牧草の減少が止まらずアルファルファヘイが453本、チモシーヘイ231本、スーダンヘイ68本と大きく減少し、乾牧草全体で734本減少した。嗜好香辛・薬染料は大きな変動はなく全体で14本増加した。野菜類は1,365本減少の7,525本であった。主力のタマネギは66本の減少であったが、ブロッコリー275本、キャベツ199本、ニンジン157本、ナガネギ145本の大幅減であった。果実は全体で671本の減少となった。かんきつ類は本船貨物同様に減少、アボカドが474本の大幅減、バナナが207本、ブドウが90本の減少だった。キーウイフルーツが166本増加した。(2) 輸出用木材こん包材消毒証明件数は1,309件で、前年から143件減少した。(3) アジア型マイマイガ不在証明事業については、検査・証明書の発行実績は無かった。(4) 25年6月から賦課金、立会料の20%減額請求を続けており7年目となっている。本年度の上半期の賦課金等収入は7,557万円(減額の金額1,824万円)と前年同期比9.8%減で、通年予算の48%となり、見込みより低調であった。(5) 広報活動では、「東京植検だより」の発行や植物防疫所、全植検協の機関誌などを配布したほか、新しい検疫情報、現場情報をホームページにより広く関係者に提供した。また、各地からの数多くの質問、相談などにも適切に対応したほか、必要に応じて関係者との打ち合わせ等を行い、円滑、的確、かつ安全な検疫業務の推進に努めた。(6) 職員の資

質向上を図り、日常の業務に一層的確に対応できるよう、職員を関係機関の行う内外の各種研修会、説明会等に積極的に参加させ最近の植物検疫情勢を学ばせたほか、他の地域協会の職員との交流を深めさせた。(7) 関係当局及び諸団体との連絡・協調を図り、特に全植検協については、前田会長が理事・副会長として、また事務局においても各種委員として、同協会の運営に協力した。また農水省植物防疫課も参加する「植物検疫関係団体連絡会」において検疫現場の状況報告、問題点提起とともに、検疫情報を直接入手した。さらに、近在協会とも定期的に連絡会を開き、意見・情報交換などに努めた。(8) 本年10月の請求・統計システムの新システムクラウド化本稼働に向け、現行システムと2ヵ月に亘って並行入力を行い、共同開発する横浜植物防疫協会、ソフト開発会社と打合せし調整した。

一など本年度の主要事項と収支状況について報告が行われ、本案は異議無く承認された。

第2号議案「賦課金等の減額請求措置の令和2年度の取扱いについて」(1) 平成15年6月から賦課金・立会料(輸出こん包材の消毒証明料を除く。)の減額請求を実施しており、25年度からは20%減額となっている。本措置の次年度における取扱いについては、毎年、年度前半の業務量及び収支状況などを勘案して、秋の定例理事会において協議することとされている。(2) 上半期の取扱業務量は前年同期比8.6%減で、主力のコンテナ貨物、本船貨物ともに見込みより低調であり、通年予算に対して48%の達成率となっている。これは東京港がそのキャパシティを超えるコンテナ取扱量となり、コンテナの引取りに多大な時間が掛かること等が嫌われ、横浜港等へ貨物がシフトしたことが原因と思われる。従って下期もその傾向は続くと思われ、上期と同程度の減少は見込まなければならず、収入としては150万円ほど予算より低くなると思われる。(3) 一方、支出は請求・統計システムのクラウド化が順調に稼働し、想定外の支出が発生しないと仮定して、今後の経費節減に努めた場合、最終的な赤字額は当初想定した270万円から800万円ほど増加した350万円ほどになると思われる。その場合、令和元年度末の令和2年度への繰越額は1490万円程度と見込まれる。(4) この繰越額から見ると、令和2年度も賦課金等の20%減額措置を継続することとしたい。(5) ただし、令和2年度においても貨物の東京港離れは

続くと思われ、更に東京五輪に絡んで五輪委員会並びに東京都からの貨物の他港へのシフト要請等を鑑みると、下期の数字が上期の想定より落ち込み、来年度の見通し如何によっては来年度の理事会・総会において減額率を期の途中において10%に変更することを提案しなければならない可能性もあることをご承知いただきたい。
一本案について全員意義なく承認された。

植物検疫くん蒸安全旬間を実施

11月1日から11月10日の期間で植物検疫くん蒸安全旬間を実施した。本旬間は毎年この期間に植物検疫くん蒸に携わるくん蒸施設、防除業者、当協会の三者で自主的な安全点検期間として実施しているものである。

植物検疫くん蒸は屋外の農地に農薬を散布する病害虫防除と違い、植物防疫所で指定されたくん蒸施設、屋内で実施されている。事務所や関係者の出入りがある近隣でくん蒸剤の投薬が行われる場合があることから、当事者から周辺関係者への周知が非常に重要である。特にくん蒸が頻繁に行われない施設については、くん蒸そのものについての知識も希薄になる可能性があることから、くん蒸に係る安全意識の啓蒙を目的として行っている。

当協会では安全旬間に先立ち、啓発用ポスターの関係者への配布と掲示の依頼、協会職員がくん蒸立会業務や検疫対象貨物に輸送途上にくん蒸剤を入れて輸送してきた際のガス検知業務で使用する検知器具の点検・メンテナンス。またその際に着用するガスマスクの点検とガス吸収缶の交換を行った。事務所内においては日頃ガス検知が発生しうる品目の確認等を行った。



くん蒸施設については期間中に協会職員と防除業者で直接訪問し、安全対策や周知方法の聞き取り、設備の不具合や設備工事の予定確認を行い、日頃からの植物検疫くん蒸への理解と関係者への周知をお願いした(写真)。
また、最近では勢力の強い大型台風が首都圏を通過す

ることが多くなったことから、海沿いに隣接した設備については、今回の台風15号や19号で設備等に被害や影響の有無も確認した。

施設訪問に際しては、横浜植物防疫所東京支所の防疫官に全ての施設に同伴していただき、オブザーバーとして安全対策に関するアドバイス等をいただいた。

安全旬間終了後、防除業者と協会で総括ミーティングを行い、旬間期間中に点検した内容や施設訪問時に実施したアドバイス等を報告、内容を共有して今後の安全対策に活かすことを確認した。

今後も植物検疫くん蒸安全旬間を通して、事故の無い検疫くん蒸を実施して頂くよう、関係各社に御協力をお願いしたい。(業務グループ 大西 洋)

植物防疫法施行規則等の一部改正案について

農林水産省は植物防疫法施行規則等の一部改正(案)につきパブリックコメントを実施し、利害関係者の意見を聞く公聴会を開催した。案では施行時期は12月下旬以降とされている。今後、パブリックコメント等で提出された意見を踏まえ対応するものと思われる。改正案の概要は以下のとおり。

★植物防疫法施行規則の一部改正案について

植物を輸入する際には、うこん、アーモンド等一部の植物を除き植物検疫証明書の添付が必要である。案では証明書添付が不要である植物の範囲を拡大し、大部分の乾燥、凍結植物には証明書の添付は不要となる。また、種苗類、生果実等以外の穀類、豆類及び肥飼料等農業生産に直結する植物、植物生産物には証明書添付が必要となる。

★輸入植物検疫規程の一部改正案について

麦、トウモロコシ等からグラナリアコクゾウムシが発見された場合、薬量、温度及びくん蒸日数等一定の条件を満たすことによりリン化アルミニウムくん蒸(倉庫、サイロ)を可能とする改正。

請求書様式の変更のご案内

2019年10月1日より、当協会の請求システムが新しくなりました。それに伴い、10月1日以降に発行する「年会費請求書」および、10月20日締め以降に発行する「賦課金・立会料・臨時会員会費請求書」については、新しい様式に変更となります。

東京植物検疫協会事務局人事

○12月4日付

退職

杉田 幸男(業務グループ参与)

会員・役員の変動(令和元年10月1日～令和元年11月30日)

☆入会会員

10月1日 ㈱G&Tマテリアルズ [商社] 〒331-0804 さいたま市北区土呂町2-9-4

☎ 048 (788) 4637

☆社名変更

10月1日 ㈱後藤回漕店 ← まるま運輸㈱

👁️ タイム eye 📷

業務グループ 米国加州産柿生果実初輸入

11月12日東京港で米国カリフォルニア州産柿生果実が初輸入された。東京港ではニュージーランド産やイスラエル産の柿が輸入された実績はあるが、米国からののは初めてのことである。

今回の柿はカリフォルニア州産で植物検疫証明書の添付で植物検疫検査が可能であるが、フロリダ州産に限り、日本の植物防疫課長の認定を受けた作業計画に基づき、米国政府が指定したカリブミバエ未発生地域で生産されたものか、もしくは米国指定の処理施設でカリブミバエの殺虫処理が行われたもので、そのむねを記載した植物検疫証明書を取得したもののみ、輸入が可能であるため注意が必要である。

今回の柿は「富有」という完全甘柿のメジャー品種。岐阜県で開発され、甘みが強く、肉厚で果肉が柔らかいことが特徴。既に明治31年には統一ブランド化されていた馴染み深い品種である。(写真)



柿は甘柿と渋柿に大別され、さらに完全甘柿、不完全甘柿、完全渋柿、不完全渋柿に分けられる。完全甘柿は種の有無に係らず、熟せば常に甘みを持つ。不完全甘柿は甘柿の中で種が多く入ると渋みが抜けるもの。完全渋柿は種が入っていても渋いままのもの。不完全渋柿は種の周辺だけ渋みが抜けるものとなっている。完全甘柿を除き、アルコールや炭酸ガスによる処理や、干し柿などの加工による「渋抜き」を行って、渋みの元である「水溶性タンニン」を「不溶性タンニン」に変質させる必要がある。

日本でも平成29年10月に日本産柿生果実の米国への輸出が条件付で解禁されており、日本の品種が日米間でお互い行き来しているのは興味深い。

柿はビタミンCの含有量が多く、風邪の予防やタンニンによる二日酔いにもよいとも言われている。「風邪」や「忘年会」の多くなる季節に食すには、今回の「米国産富有柿」は最適な果実である。

(大西 洋)

業務グループ 韓国産キュウリ生果実初輸入

10月15日、品川埠頭に入港した“PANSTAR GENIE”号で韓国産キュウリ生果実が、東京港に初輸入された。今回のキュウリは、トマト生果実とコンテナ相積みされ、検査結果は無事合格となった。見た目は、太くて短い重量感のある品種で、日本の一般的なキュウリとは異なっている。(写真)



韓国では日本のような細いキュウリではなく、今回のような太くて短い品種(ラリーノ種)が一般的で、キムチなどでよく食べられている。

キュウリ生果実はアジア地域(中東を除く)で、韓国と北朝鮮とモンゴル以外は輸入禁止対象病害虫であるウリミバエの発生国であるため輸入禁止となっている。

また、アルゼンチン、エクアドル、コロンビアなどの中南米一部の国より、*Anastrepha grandis*(ミバエ科の一種)の発生国であるため、輸出国での作業計画に基づく検疫措置(別表2-2)の対象植物となっている。

本年7月29日に植物防疫法施行規則の一部が改正され、検疫有害動植物の指定、輸入禁止(別表2)、輸出国での栽培地検査(別表1-2)、輸出国での検疫措置(別表2-2)の地域及び植物の追加や削除、組合せの変更など、6ヶ月の猶予期間を経て令和2年1月29日に施行される。中でも輸入禁止対象害虫であるミカンコミバエ種群の地域にエチオピア、南アフリカ共和国などの追加と、対象植物にキュウリが追加されたため、ミカンコミバエ発生国からのキュウリ生果実は輸入禁止となる。

キュウリの日本への輸入量は少なく、輸入条件による制限のほか、水分が多く日持ちしにくい野菜であるため、鮮度維持が難しいのが理由でもある。湿度が低いと果実の水分が抜けてしまい、高湿度で結露してしまうと結露部分から腐り始めてしまう。植物検疫統計による2018年の全国輸入量は、メキシコ、韓国など6カ国、約72トンの輸入に留まり、航空貨物が約8割を占めている。

近隣国である韓国は、輸送距離、輸送期間も短く、生鮮貨物の物流に適していることから、今後の輸入展開に期待したい。

(西村 洋一)

東京港輸入植物品目別統計表

(1月 - 10月累計)

品目	単位	コンテナ詰			在来船積		合計	
		本数	検査数量	不合格数量	検査数量	不合格数量	検査数量	不合格数量
栽植用植物	個	37	2,561,293	189,083	0	0	2,561,293	189,083
栽植用球根類	個	97	18,684,198	403,000	0	0	18,684,198	403,000
アマリリス	"	7	68,208	0	0	0	68,208	0
チューリップ	"	0	0	0	0	0	0	0
ユリ	"	87	17,176,275	0	0	0	17,176,275	0
栽植用種子	kg	339	3,043,864	41,726	0	0	3,043,864	41,726
草花・樹木	"	3	4,798	29	0	0	4,798	29
野菜	"	180	661,253	5,035	0	0	661,253	5,035
普通・特用作物	"	45	619,217	0	0	0	619,217	0
牧草・芝草	"	92	1,610,027	36,650	0	0	1,610,027	36,650
切花、切葉、切枝	個	1,501	237,991,455	5,737,099	0	0	237,991,455	5,737,099
アンスリウム	"	0	0	0	0	0	0	0
オンシジューム	"	174	7,880,636	199,450	0	0	7,880,636	199,450
キク	"	748	66,773,312	1,403,704	0	0	66,773,312	1,403,704
シダ(レザーフアン)	"	69	11,175,700	75,200	0	0	11,175,700	75,200
果実	kg	8,491	150,007,806	6,447,979	256,077,257	181,175,229	406,085,063	187,623,208
オレンジ	"	1,523	19,900,124	18,376	521,409	0	20,421,533	18,376
グレープフルーツ	"	534	11,235,530	620,020	8,976,954	0	20,212,484	620,020
タンジェロ(ミネオラ)	"	163	5,291,114	0	0	0	5,291,114	0
レモン	"	727	19,465,608	447,364	363,250	0	19,828,858	447,364
パイナップル	"	538	10,414,679	1,561,446	19,884,647	16,869,169	30,299,326	18,430,615
バナナ	"	927	15,584,029	1,792,820	201,112,851	164,306,060	216,696,880	166,098,880
マンゴウ	"	109	1,797,383	0	0	0	1,797,383	0
キーウイフルーツ	"	692	12,039,953	35,402	25,212,811	0	37,252,764	35,402
ブドウ	"	564	8,530,647	30,110	0	0	8,530,647	30,110
野菜	kg	13,232	260,509,237	1,554,804	85	0	260,509,322	1,554,804
カボチャ	"	466	10,875,232	826,833	0	0	10,875,232	826,833
サヤエンドウ(キヌサヤ)	"	31	314,568	0	0	0	314,568	0
パプリカ	"	94	740,232	2,480	0	0	740,232	2,480
メロン(ハミウリ含む)	"	113	1,964,516	29,030	0	0	1,964,516	29,030
キャベツ	"	569	12,623,795	35,610	0	0	12,623,795	35,610
セロリ	"	102	1,599,765	192,368	0	0	1,599,765	192,368
ナガネギ	"	1,744	25,358,170	15,687	0	0	25,358,170	15,687
ニンニクの芽	"	81	1,547,568	0	0	0	1,547,568	0
ハクサイ	"	31	329,789	9,314	0	0	329,789	9,314
ブロッコリー	"	348	3,182,288	262,362	0	0	3,182,288	262,362
レタス	"	368	4,395,794	117,572	0	0	4,395,794	117,572
タマネギ	"	4,359	106,468,834	0	0	0	106,468,834	0
ニンニク	"	634	10,041,312	22,726	0	0	10,041,312	22,726
アスパラガス	"	20	134,673	9,048	0	0	134,673	9,048
ゴボウ	"	282	7,741,574	0	0	0	7,741,574	0
サトイモ	"	70	1,389,320	0	0	0	1,389,320	0
ショウガ	"	409	9,665,325	0	0	0	9,665,325	0
ニンジン	"	1,076	28,848,575	0	0	0	28,848,575	0
こく類	kg	6,875	142,562,550	0	155,033,616	0	297,596,166	0
オオムギ	"	134	2,872,901	0	0	0	2,872,901	0
エンバク	"	356	7,863,282	0	0	0	7,863,282	0
コムギ	"	249	5,021,870	0	155,033,616	0	160,055,486	0
コメ	"	1,142	21,870,667	0	0	0	21,870,667	0
ソバ	"	273	5,704,282	0	0	0	5,704,282	0
トウモロコシ	"	345	6,793,404	0	0	0	6,793,404	0
モルト	"	4,335	91,784,596	0	0	0	91,784,596	0
まめ類	kg	7,833	157,649,986	110,011	0	0	157,649,986	110,011
エンドウ	"	28	571,116	0	0	0	571,116	0
ダイズ	"	7,357	148,640,072	108,011	0	0	148,640,072	108,011
ラッカセイ	"	254	5,314,871	0	0	0	5,314,871	0
嗜好香辛、薬染料、その他食品	kg	3,267	49,932,703	25,000	0	0	49,932,703	25,000
カカオ	"	10	10,898	0	0	0	10,898	0
コーヒー	"	43	518,957	0	0	0	518,957	0
タバコ	"	541	10,014,140	0	0	0	10,014,140	0
アーモンド	"	954	15,729,260	0	0	0	15,729,260	0
クリ	"	25	347,893	25,000	0	0	347,893	25,000
クルミ	"	506	7,948,859	0	0	0	7,948,859	0
ポップコーン	"	287	5,720,354	0	0	0	5,720,354	0
油料、肥飼料、その他雑品	kg	22,316	503,052,464	270,186	1,101	0	503,053,565	270,186
乾燥牧草(ヘイ)	"	16,312	378,636,468	189,890	0	0	378,636,468	189,890
アニマルフィード	"	28	295,463	0	0	0	295,463	0
アルファルファペレット	"	1,126	28,891,428	0	0	0	28,891,428	0
コーンコブミール	"	4	68,165	0	0	0	68,165	0
飼料用大豆カス、ペレット	"	49	1,104,515	0	0	0	1,104,515	0
ビートパルプペレット	"	95	2,355,369	0	0	0	2,355,369	0
イネワラ	"	122	2,036,396	0	0	0	2,036,396	0
ココピート	"	515	9,552,216	0	0	0	9,552,216	0
ココヤシ園芸資材	"	214	4,681,084	0	0	0	4,681,084	0
ビートモス	"	1,005	21,485,981	0	0	0	21,485,981	0
ミズゴケ	"	41	87,251	0	0	0	87,251	0
タケ	"	81	1,256,992	0	0	0	1,256,992	0
木材	m ³	6	98	56	0	0	98	56
** 総合計 **	kg	62,353	1,266,758,610	8,449,706	411,112,059	181,175,229	1,677,870,669	189,624,935
	個	1,635	259,236,946	6,329,182	0	0	259,236,946	6,329,182
	m ³	6	98	56	0	0	98	56

注) 主要品目のみ掲載。携帯品、郵便物及び他港からの荷受分は含めない。